

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【公表番号】特表2008-531987(P2008-531987A)

【公表日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-032

【出願番号】特願2007-555724(P2007-555724)

【国際特許分類】

G 0 1 N	21/35	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	21/64	(2006.01)
G 0 1 N	21/65	(2006.01)
G 0 1 R	33/465	(2006.01)

【F I】

G 0 1 N	21/35	Z
G 0 1 N	33/50	E
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	21/64	Z
G 0 1 N	21/65	
G 0 1 N	24/08	5 1 0 Q

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月26日(2009.1.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

酸化ストレス依存性疾患の存在に関する確率データを生成する方法であつて：

生体液の得られたスペクトルを分析様式を使用して分析し；

得られたスペクトルと、酸化ストレス依存性疾患との間の相関関係を使用して、確率データ生成することを包含する方法。

【請求項2】

前記分析様式が多波長光吸収である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記分析様式が、光学的ラマン散乱及び光学的蛍光のうちの一方である、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記光スペクトルが短波長近赤外線である、請求項2又は3に記載の方法。

【請求項5】

前記光スペクトルが近赤外線である、請求項2又は3に記載の方法。

【請求項6】

前記光スペクトルがT H z帯にある、請求項2又は3に記載の方法。

【請求項7】

前記の選択した分析様式がN M Rである、請求項2又は3に記載の方法。

**【請求項 8】**

前記疾患がアルツハイマー病（A D）である、請求項 1～7 の何れか 1 項に記載の方法。

**【請求項 9】**

前記疾患が軽度認知障害（M C I）である、請求項 1～7 の何れか 1 項に記載の方法。

**【請求項 10】**

前記疾患がパーキンソン病（P D）である、請求項 1～7 の何れか 1 項に記載の方法。

**【請求項 11】**

前記疾患が血管性認知障害（V C I）である、請求項 1～7 の何れか 1 項に記載の方法。

**【請求項 12】**

請求項 1～7 の何れか 1 項に記載の生体液中の酸化ストレス成分の酸化還元シグニチャを取得し；

少なくとも 1 つの追加の臨床病状を観察し；

前記少なくとも 1 つの追加の病状及び前記酸化還元シグニチャを使用して診断を取得することを包含するが、この場合、前記診断が、前記測定値及び前記少なくとも 1 つの追加の病状の何れか一方のみでは行うことができない、臨床診断を補助する方法。

**【請求項 13】**

酸化ストレス関連疾患の処置を目的とする薬物又は治療薬の効果を試験する方法であって：

薬物又は治療薬に従い、請求項 1～7 の何れか 1 項に記載の方法を使用して、一定期間にわたり酸化還元シグニチャを測定することを包含する、方法。

**【請求項 14】**

酸化ストレス成分を監視する方法であって：

請求項 1～7 の何れか 1 項に記載の方法を使用して、少なくとも 1 つの酸化ストレス成分を連続して又は高い頻度で測定し；

前記 1 つ以上の酸化ストレス成分における変化を検出することを包含する、方法。

**【請求項 15】**

複数の前記酸化ストレス成分の重み付け平均を表す値が計算され、前記変化の検出が、前記平均における変化を検出して、酸化ストレスの程度における変化を検出することを包含する、請求項 12、13 及び 14 の何れか 1 項に記載の方法。

**【請求項 16】**

更に、前記変化の検出に応答して警告を発することを包含する、請求項 14 又は 15 に記載の方法。

**【請求項 17】**

患者における少なくとも 1 つの酸化ストレス成分を測定する装置であって：

媒体の少なくとも 1 つの光学的特性を測定し、光学測定データを生成する、光源及び光検出器を備えた光学分析装置；

該光学分析装置を該患者の生体液と連結する経皮カプラー；及び

該光学測定データを分析して、1 つ以上の酸化ストレス成分の値を該患者の酸化還元シグニチャの形式で生成するプロセッサを含む、装置。

**【請求項 18】**

前記プロセッサが、複数の前記酸化ストレス成分の値の重み付け平均を表す値を生成し、前記平均が、該患者の酸化ストレスの程度を示す値を提供する、請求項 17 に記載の装置。

**【請求項 19】**

前記光学分析装置が多波長光吸収を測定する、請求項 17 又は 18 に記載の装置。

**【請求項 20】**

前記光学分析装置が光学的ラマン散乱及び光学的蛍光のうちの一方を測定する、請求項 17 又は 18 に記載の装置。

**【請求項 2 1】**

前記光源が短波長近赤外線を放射する、請求項 1 9 又は 2 0 に記載の装置。

**【請求項 2 2】**

前記光源が近赤外光を放射する、請求項 1 9 又は 2 0 に記載の装置。

**【請求項 2 3】**

前記光源が THz 帯の光を放出する、請求項 1 9 又は 2 0 に記載の装置。

**【請求項 2 4】**

前記光源が無線周波源である、請求項 1 9 又は 2 0 に記載の装置。

**【請求項 2 5】**

前記プロセッサが、前記 1 つ以上の酸化ストレス成分における変化を検出し、前記変化に応答して警告シグナルを発する警告モジュールを更に備える、請求項 1 7 ~ 2 4 の何れか 1 項に記載の装置。